

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 佐久地域を支える地域防災力の向上事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 長野LP協会佐久支部 (佐久市跡部65-1 佐久地方事務所内 電話0267-63-3450) |
| 事業区分 | (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,115,940円 (うち支援金879,000円) |

事業内容

1 防災意識向上のためのチラシ作成及び配布

災害時におけるLPガスの利便性、活用方法、当会の災害時における取組みを紹介したチラシを作成。家庭で保存できる仕様とし災害時に役立つ内容とした。また、7月31日(日)の朝刊に折込み、管内55,750戸に配布をおこなった。



2 佐久市と佐久消防署が主催する『佐久市消防団みんなあつまれふれあいDay』において次の事業を実施

●災害時に活用できる料理レシピ本を活用しての炊き出し体験

各自治体に寄贈した炊き出しセットを活用し、災害時に迅速に炊き出しがおこなえるように、参加希望者・赤十字奉仕団に炊き出しセットの組み立て方法並びにLPガスを安全に使用するための指導後、「災害時に活用できる料理レシピ本」を使って長野県調理師会佐久平支部及び日赤職員に指導してもらい炊き出し体験をおこなった。



【上：防災意識向上ためのチラシ
下：炊き出しセットを活用しての炊き出し体験】

●LPガス発電機の活用体験

①携帯電話への充電実演

大規模災害の際には、通信インフラが混乱する中で、被災者等の安否確認のための「緊急携帯電話ステーション」の実演を行う。この実演に使用する災害対応モバイルチャージャーは一度に16台同時充電が可能。(携帯電話各社に対応のほかPHS、スマートフォン、タブレット端末でも利用可能 エア・ウォーター(株)提供)

②LPガス発電機の始動体験による電源供給

被災地における電源供給のためのLPガス発電機の始動体験をおこなった。

●火の取り扱い体験

①火おこし体験

当会火育マイスター(業界認定)による、ヒキリ棒を利用しての火おこし体験で安全な火の取り扱い方法を体験

②消火体験

消防団及び消防職員の指導で簡易ポンプによる消火を体験

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①災害時におけるLPガスの利便性、活用方法、当会の災害時における取組みを紹介したチラシを佐久管内全域に配布することにより、地域全体の防災意識の向上を図ることができた。

新聞折込み配布部数 55,750部

②日赤奉仕団及び来場者、消防団員と協力してLPガスを活用しての炊き出し作り体験及びLPガス発電機の使用体験してもらえたことは、災害時避難所等において迅速に温かい食べ物が調理できたり、電気を供給する方法が習得できた。

③災害時に活用できる料理レシピ本を使用しての炊き出し実演を長野県調理師会佐久平支部と日赤職員と連携して指導することにより災害時での連携を強化できた。

④LPガス関連機器が災害時に有効に活用できることを配布したパンフレットにより、市及び消防署・消防団に周知できた。

佐久市消防団みんなあつまれふれあいDay
500冊配布

【目標・ねらい】

- ①災害時におけるLPガスの活用方法等のチラシを広範囲に配布し、防災意識向上に役立てる
- ②地域住民及び消防団、日赤奉仕団が避難所等で迅速に炊き出しや電気供給がおこなえるよう、LPガスに使用方法、調理方法を習得する
- ③長野県調理師会佐久平支部及び日赤職員、消防団と連携し防災意識を高める
- ④LPガス関連機器の災害時における活用方法を関係機関に周知する

※自己評価【A】

【理由】

災害時におけるLPガスの活用方法や災害支援をチラシやいろいろな体験を通して知ってもらうことができたことで、『地域防災力の向上』をはかることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度は、佐久地域全体にLPガスの災害時における利便性を広く周知し、また消防署のイベントにおいて、炊き出し方法やLPガス発電機の使用方法を市・消防・消防団及び地域住民に習得してもらうことができ、同時に協力関係が強化できた。

今後はこの事業により連携を深めることができた行政及び消防機関、関係機関と引き続き協力関係を強化し、有事の際迅速に情報を共有し連携をしながら対応をはかっていきたい。

また、基本的な防災力を高めていくために、火を使いこなせる手段を身につけてもらう『火育』に取り組み被災地等で正しく火を取り扱うことができるようなスキルを身につけられるようなプログラムに取り組んでいく。このプログラムには災害時にLPガスが有効なエネルギーであることもわかるような内容にしていきたい。できればこのプログラムには親子で参加してもらい、幅広い世代が積極的に防災について学んでもらうことにより地域の防災力向上をはかっていきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある